



平成27年3月期 第69期
第2四半期

決算説明

平成26年10月31日発表

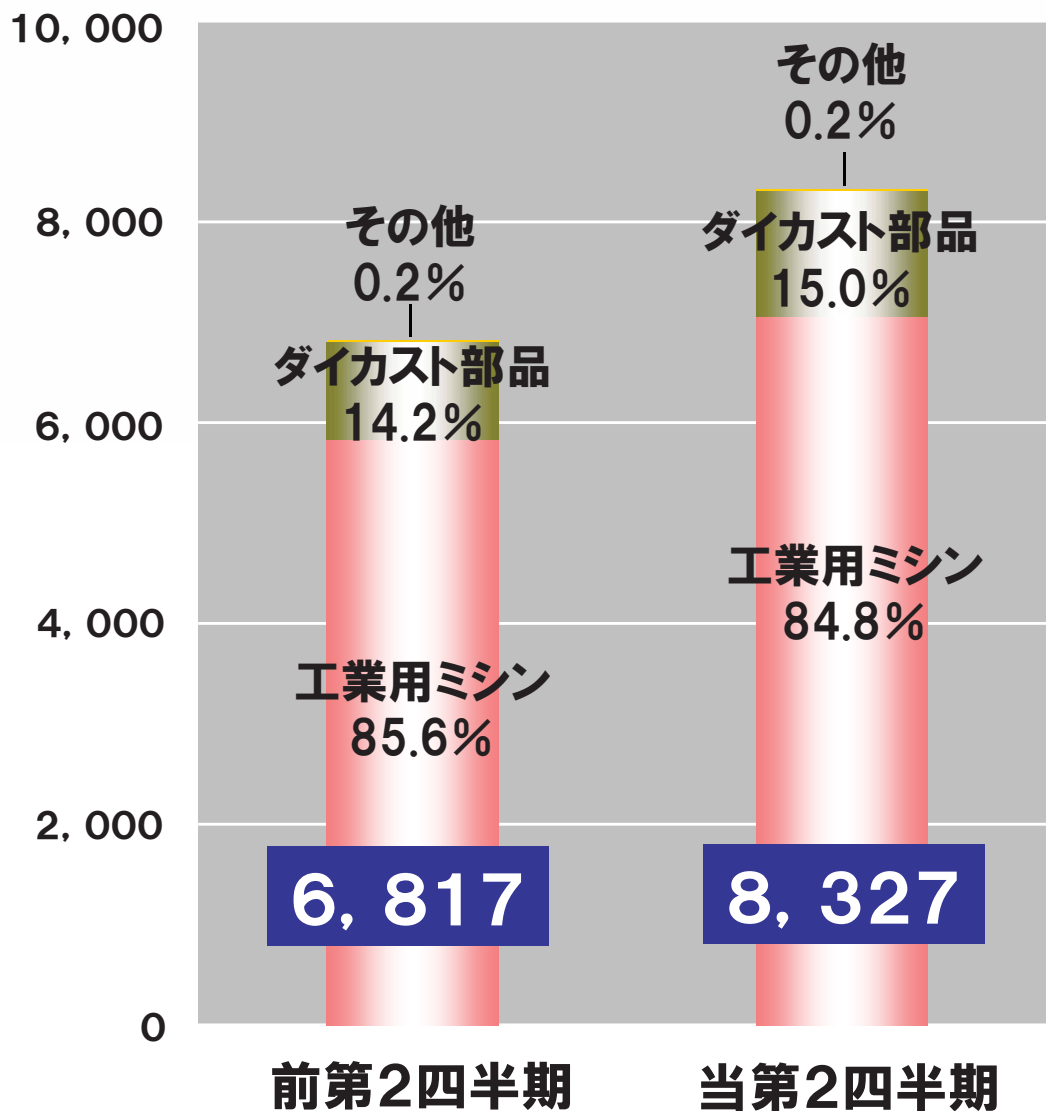
ペガサスミシン製造株式会社





*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成27年3月期
(第69期)
第2四半期業績**

連結売上高 (百万円) ●前年同期比 22.2%(1,510百万円増)


	当期実績	前期比	増減率
工業用マシン	7,059	1,224	21.0%
ダイカスト部品	1,252	286	29.7%
その他	15	▲1	▲3.8%
連結合計	8,327	1,510	22.2%

	計画	計画比	増減率
工業用マシン	6,570	489	7.4%
ダイカスト部品	1,310	▲58	▲4.4%
その他	10	5	50.0%
連結合計	7,890	437	5.5%

<工業用マシン>

- 販売台数 前期比 ▲0.8%
計画比 ▲2.0%
- 販売単価 前期比 16.3%
(為替要因除外 前期比 6.4%)
計画比 5.5%

売上高増加要因

1. 為替の円安効果
2. 工業用ミシン事業はチャイナプラスアザーズの継続で、中国は低調だが、その他のアジアおよび米州が好調に推移。
その他のアジアにおいては、バングラデシュプラスワンにより、インドが復活。
3. ダイカスト部品事業は好調な自動車産業に支えられ、堅調に推移。

連結営業利益

連結経常利益

税金等調整前
当期純利益

連結当期純損失

(百万円)

計画比

195

479

494

456

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

800

600

400

200

0

前期比

481

685

1,179

916

売上高 8,327
原価率 ▲2.8
売上総利益 +747
販管費 +266

営業外収益 324
営業外費用 101

495 ↑
特別利益 495
特別損失 0

法人税等 287
法人税等調整額 116
少数株主利益 33

224 ↑

1,149

1,150

1,644

▲438 ↓

1,206

444

730

925

464

670

1,149

465

1,150

1,644

290

750

1,206

前期中間

当期中間計画

当期中間

原価率改善要因

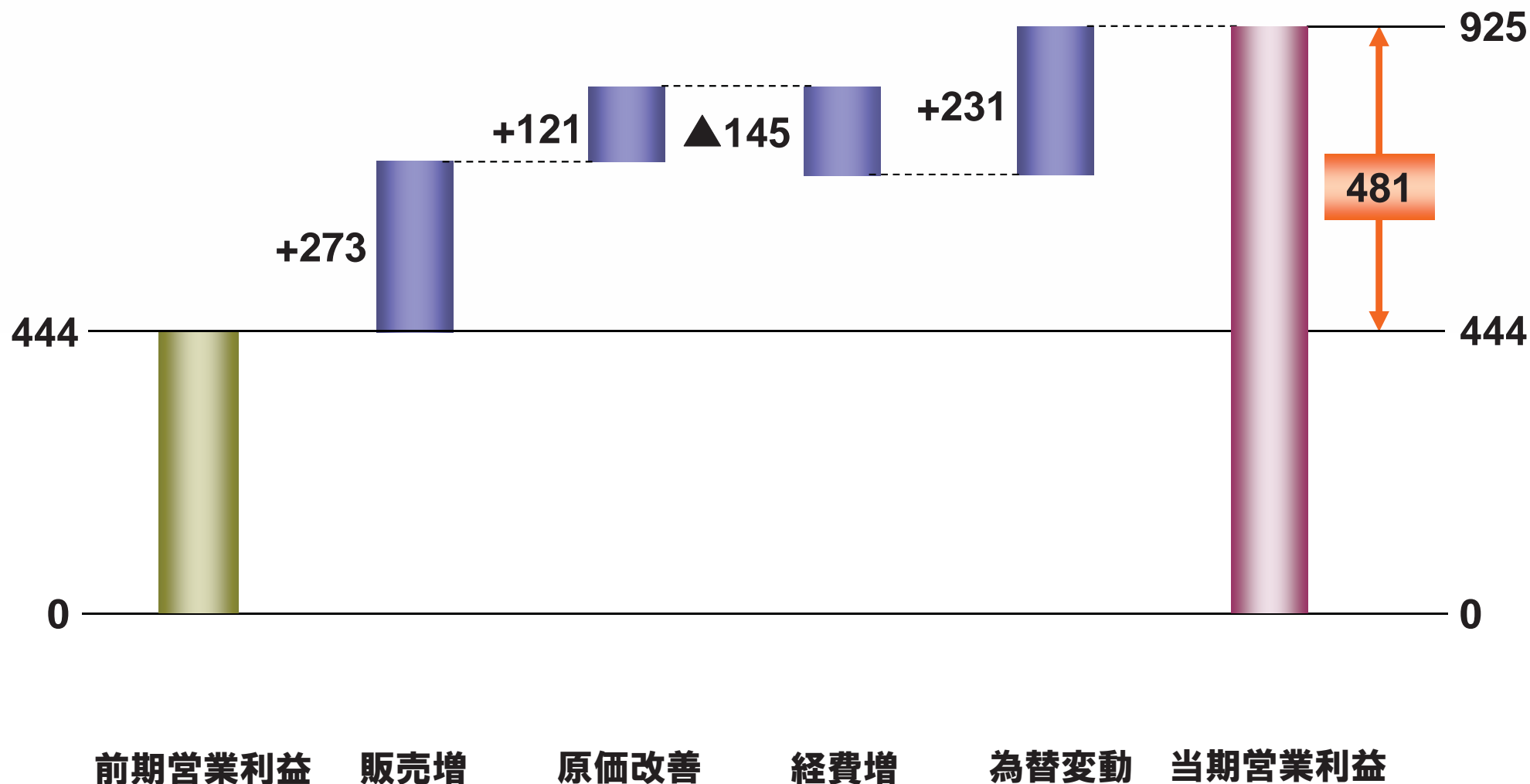
1. 生産台数増加に伴う操業度アップ
2. 海外部品調達増加
3. 為替の円安効果
4. 海外子会社の原価改善効果
5. 販売単価のアップ

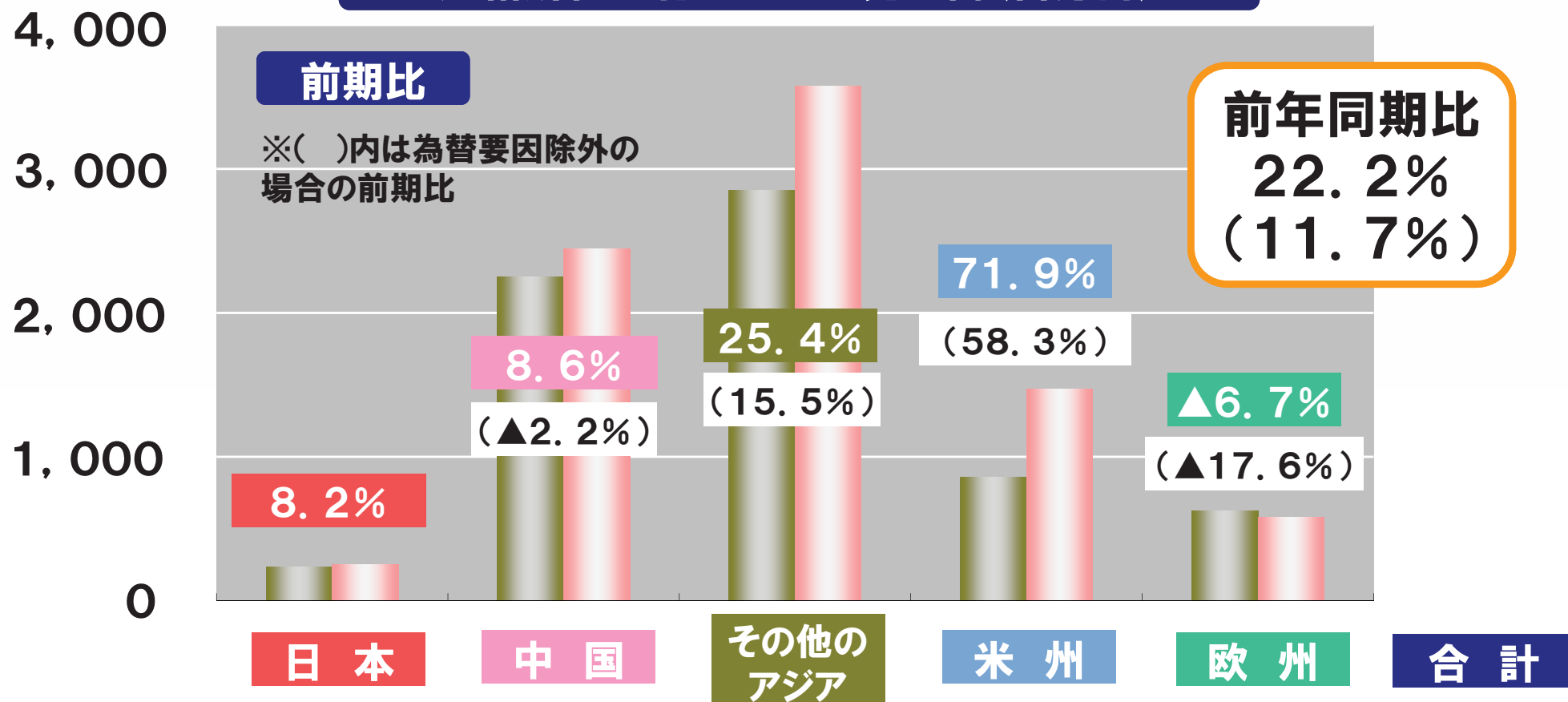
●為替による影響 (連結業績ベース)

(百万円)

通貨	JPY	USD	EUR	RMB	当期実績	為替要因除外	前期実績	為替要因除外 前期比
期中為替レート	—	¥102.66	¥140.56	¥16.74	—	—	—	—
前期為替レート	—	¥94.56	¥124.18	¥15.07	—	—	—	—
差額	—	¥8.10	¥16.38	¥1.67	—	—	—	—
売上高	252	5,057	582	2,437	8,327	7,617	6,817	800
比率	3.0%	60.7%	7.0%	29.3%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	399	68	243	710	—	—	—
売上原価	1,597	384	0	3,275	5,255	4,898	4,492	406
比率	30.4%	7.3%	0.0%	62.3%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	30	0	327	357	—	—	—
原価率	—	—	—	—	63.1%	64.3%	65.9%	—
販売管理費	950	629	93	475	2,147	2,025	1,880	145
比率	44.3%	29.3%	4.3%	22.1%	100.0%	—	—	—
為替影響額	0	51	11	60	122	—	—	—
営業利益	▲2,295	4,044	488	▲1,312	925	693	444	249
為替影響額	0	317	57	▲142	231	—	—	—

営業利益増減要因 (百万円)

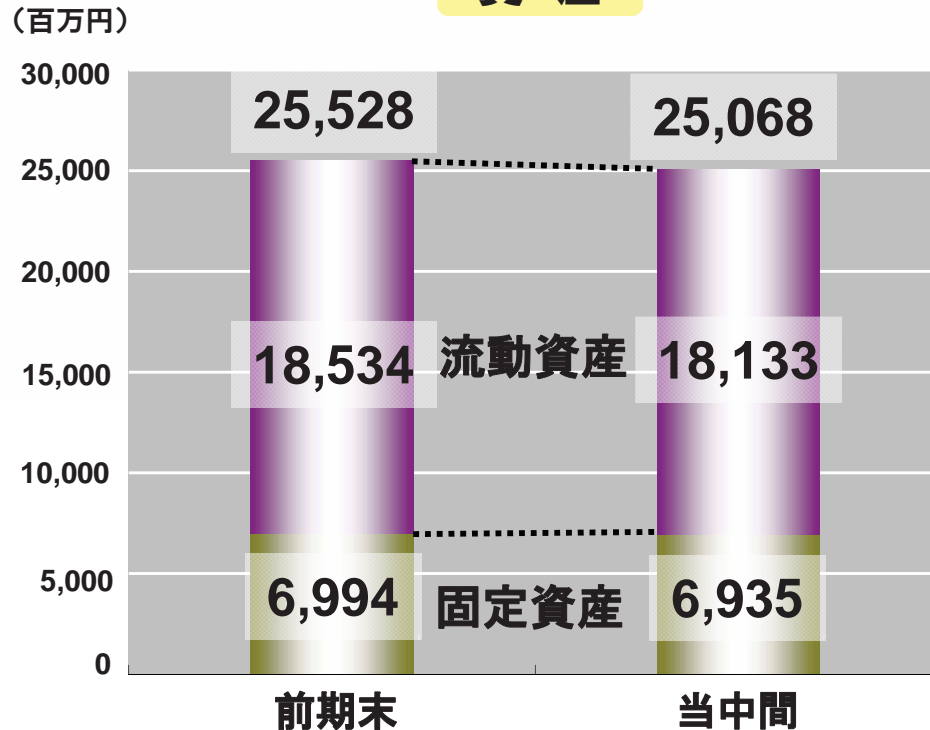


連結所在地別セグメント売上高（百万円）


	日本	中国	その他のアジア	米州	欧州	合計
68期中間	233	2,251	2,854	856	623	6,817
69期中間	252	2,445	3,577	1,472	581	8,327
増減比	▲11.6%	5.8%	1.3%	20.7%	6.8%	5.6%
増減数	▲33	135	47	252	37	438

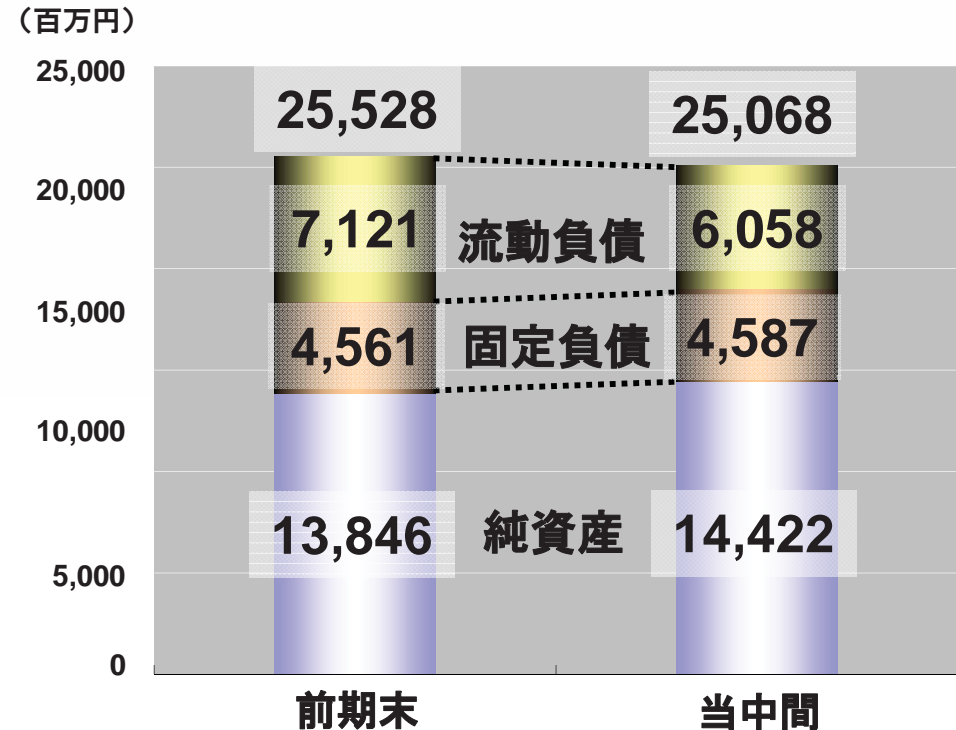
連結貸借対照表

資産



- 現金及び預金の減少
- 受取手形および売掛金の減少
- 棚卸資産の増加
- 有形および無形固定資産の減少
- 建設仮勘定の増加

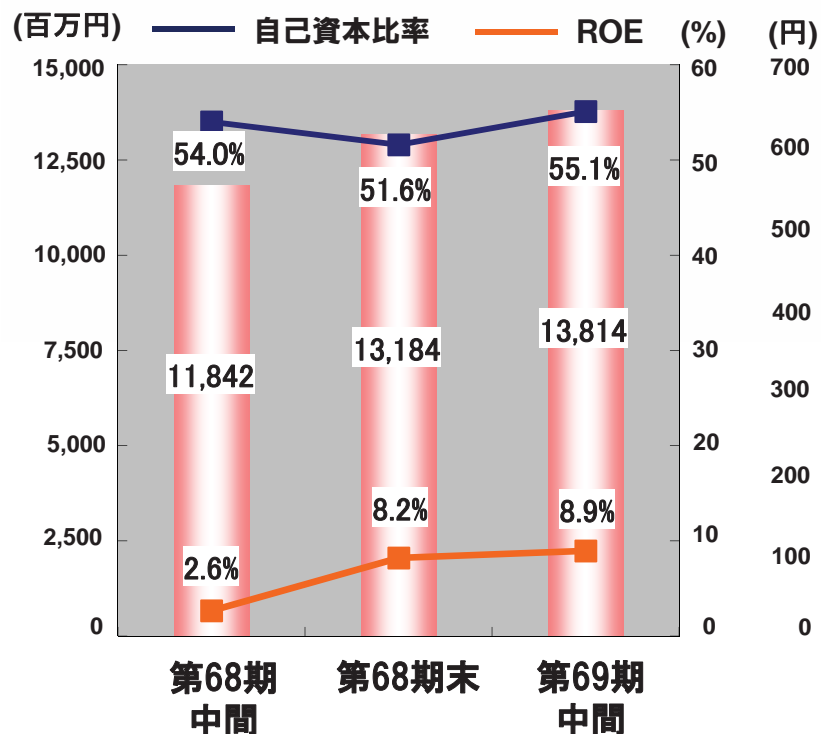
負債・資本・純資産



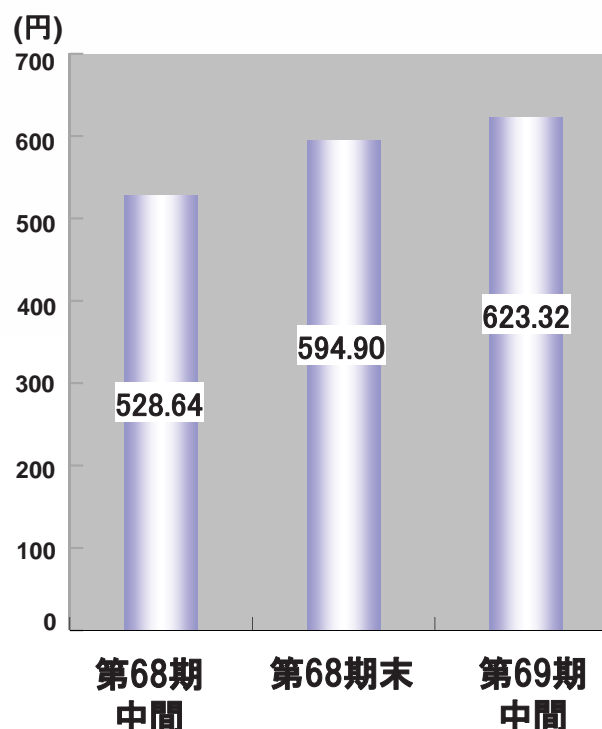
- 借入金の減少
- 未払金の減少
- 社債の増加
- 利益剰余金の増加
- 為替換算調整勘定の減少

連結財政状況

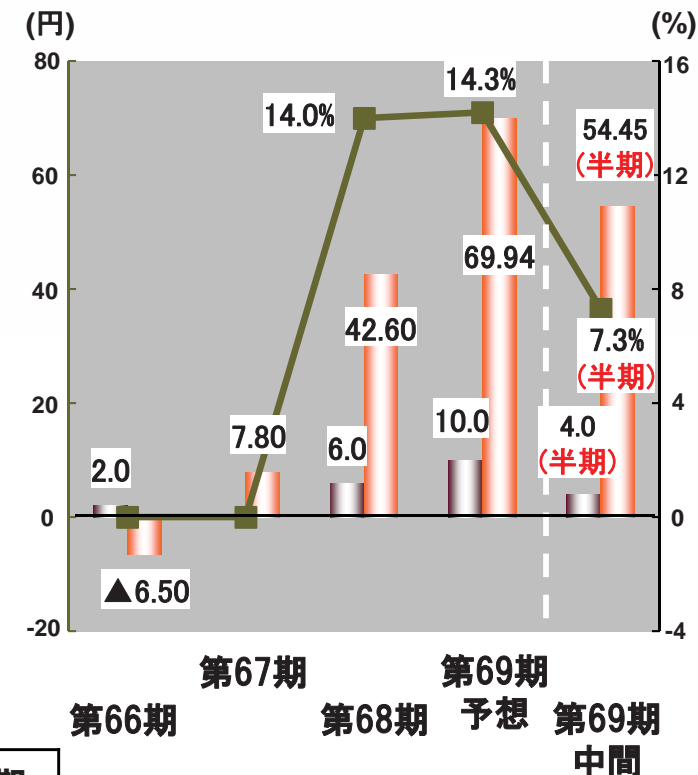
自己資本/自己資本比率/ROE



1株当り純資産



配当金/1株利益/配当性向



配当の状況

	第66期	第67期	第68期	第69期
中間	2円	0円	3円	4円
期末	0円	0円	3円	(6円)
年間	2円	0円	6円	(10円)

※ROE
 当期純利益 ÷ 期首期末平均自己資本



*Stitching Together
New Tomorrows*

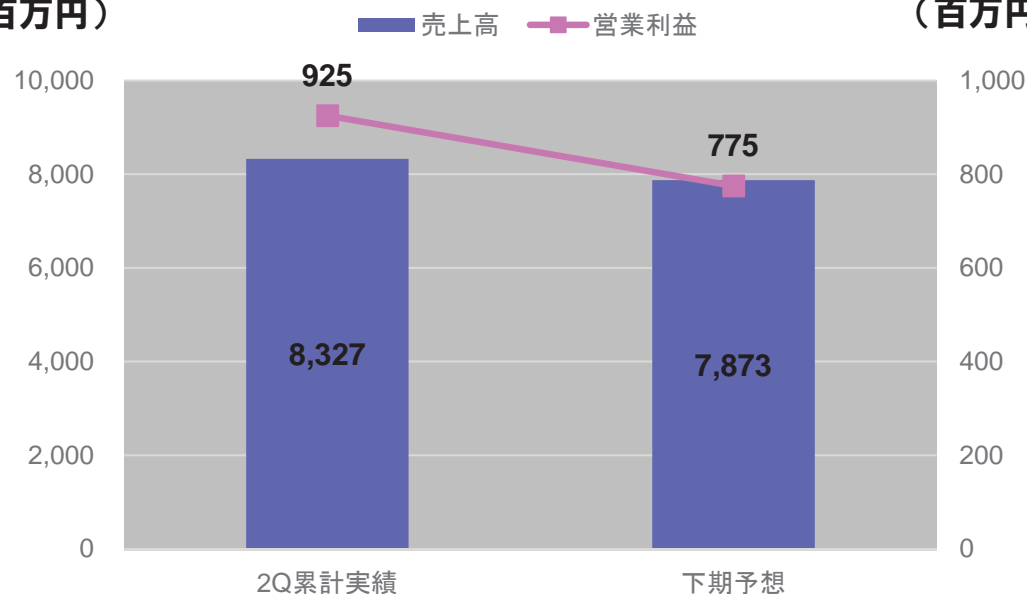
**平成27年3月期
(第69期)
業績予想**

通期業績予想、進捗（百万円）

	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
売上高	16,200	8,327	51.4%	7,890	5.5%	437
営業利益	1,700	925	54.4%	730	26.7%	195
経常利益	1,730	1,149	66.4%	670	71.5%	479
当期純利益	1,550	1,206	77.8%	750	60.8%	456

売上高
（百万円）

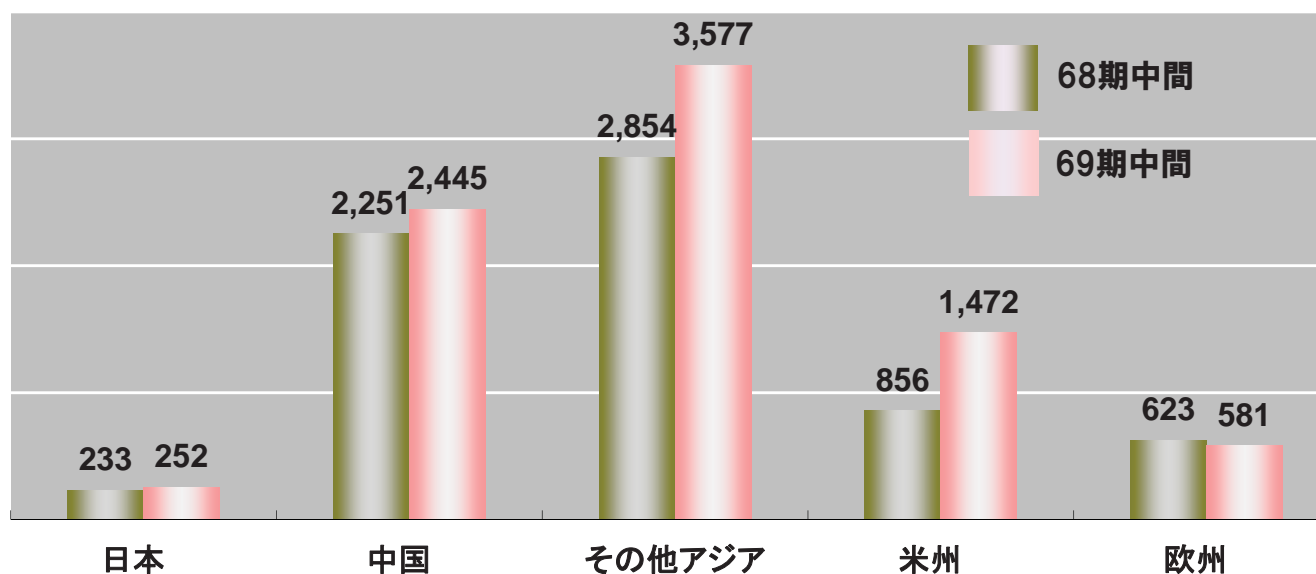
営業利益
（百万円）



所在地別セグメント売上高（百万円）

通期予想

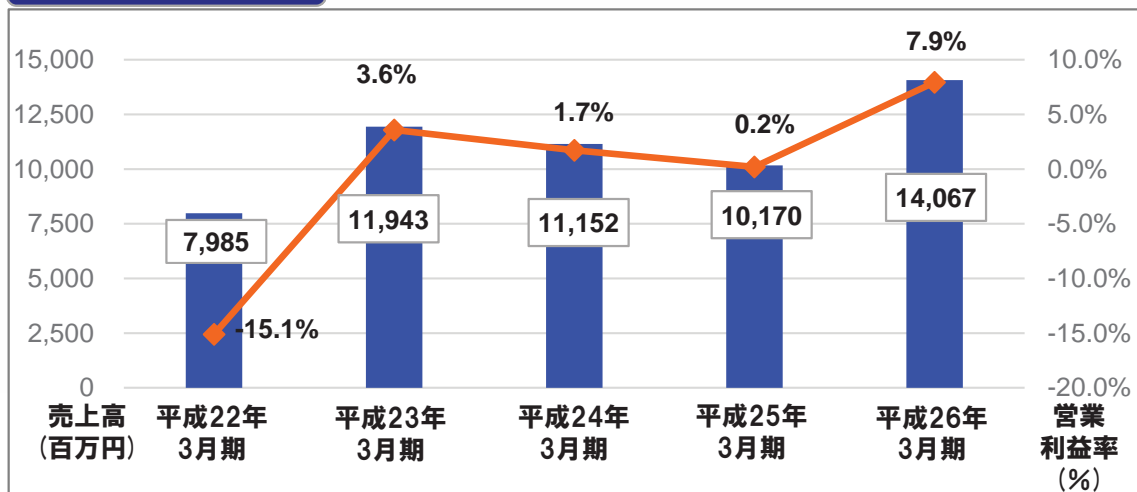
	通期計画	中間実績	進捗率	中間計画	増減率	増減額
日本	510	252	49.4%	286	▲12.1%	▲34
中国	4,455	2,445	54.9%	2,312	5.7%	133
その他のアジア	7,455	3,577	48.0%	3,530	1.3%	47
米州	2,650	1,472	55.5%	1,219	20.7%	253
欧州	1,130	581	51.4%	548	6.0%	34



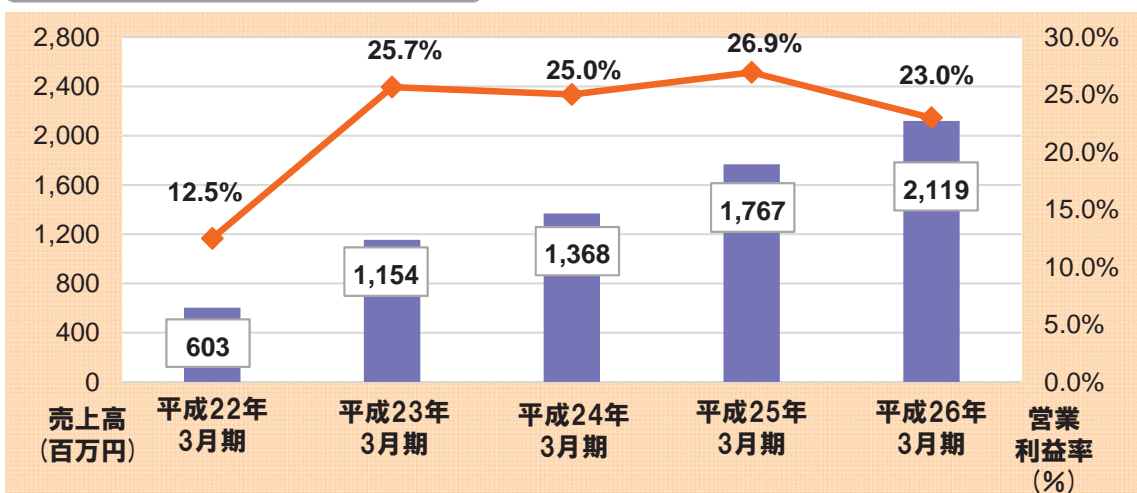
II-03 今後の展望

ダイカスト事業を収益の第2の柱へ

連結業績推移



ダイカスト部品業績推移



Phase 2

収益の第2の柱として発展させ、
グループの業績拡大ならびに
企業価値の向上を目指す。

- 平成26年11月、天津PSAにてISO/TS16949(BSI認証)取得。欧米自動車メーカーへの新規参入に向けて優位に。
- 平成25年(2013年)4月、ベトナム・ドンナイ省(ホーチミン近郊)に合併会社設立。平成26年(2014年)2月に営業開始。
- 天津工場は第1フェーズで得たノウハウによる高付加価値化と生産能力の増強へ。



*Stitching Together
New Tomorrows*

**平成27年3月期
(第69期)
重点課題**

1. 売上高対策

1) 重点課題の推進

- * 販売単価アップの継続(每期5%)
- * 台湾系、韓国系縫製業社との取引拡大
- * 中国製ハイエンド機種種の拡販
- * オセロ作戦の展開
- * 成長市場(販売重点推進地域)の販売強化
- * ダイカスト事業の拡大

2) 中国販売戦略の転換

- * 販売重点機種種の軸足をハイエンド機種種へ
- * 分公司の整理、代理店の整理・拡大
- * 模倣ミシンの排除(偽物対策の徹底)
- * 部品調達の中国内での多様化

3) その他

- * 3つの差別化の徹底
- * 市場環境に即応可能な海外拠点の整備

2. 原価改善対策

1) 海外部品調達比率アップ

2) 委託ミシンの仕入れ単価低減

***製造拠点の原価低減**

(ミシン事業、ダイカスト部品事業の中国およびベトナムの製造拠点)

***部品調達先の多様化 (ベトナム、中国内)**

3) 品質改善による無駄の撲滅

***部品品質改善プロジェクト推進**

***品質監査室活動強化**

***部品納期改善・不良率ゼロ**

***部品発注方式の変更**



*Stitching Together
New Tomorrows*

会社概要

IV-01 会社概要

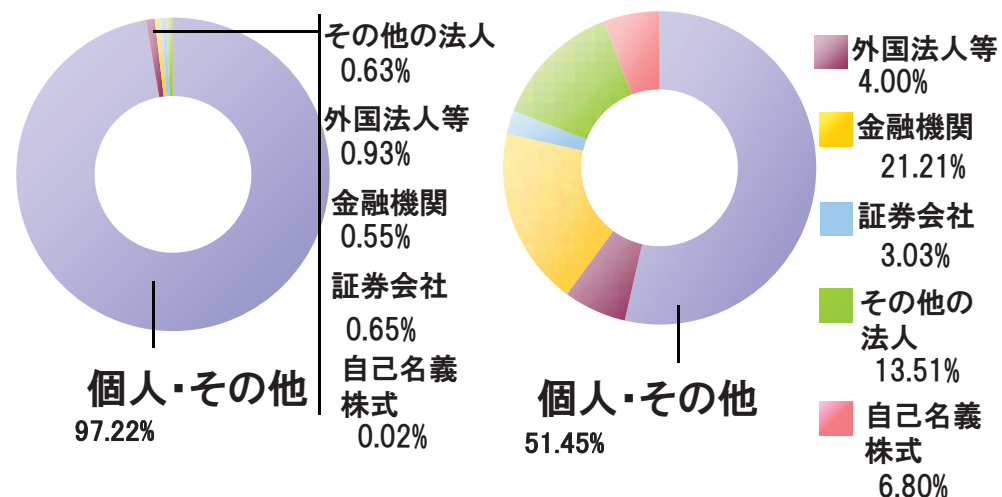


● 会社概要

会社名	ペガサスマシン製造株式会社
代表者	代表取締役社長 清水盛明
創業	大正3(1914)年1月
所在地	大阪市福島区
資本金	19億875万円(平成26年9月末現在)
売上高	140億6,700万円(平成26年3月末現在)
従業員数	1,263名(連結平成26年9月末現在) 224名(単体平成26年9月末現在)
事業内容	工業用環縫いマシンおよび部品の製造・販売 自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売

● 株主状況 平成26年9月末時点

◆所有者別比率(%) ◆所有者別持株数比率(%)



大株主の状況 平成26年9月末時点

氏名または名称	割合(%)
1 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7.67
2 ペガサスマシン製造株式会社	6.80
3 株式会社美馬	6.53
4 板東敬三	3.50
5 株式会社三井住友銀行	3.49
6 吉田隆子	2.99
7 ペガサスマシン従業員持株会	2.67
8 美馬成望	2.58
9 板東雄大	1.97
10 美馬正道	1.84
計	40.04

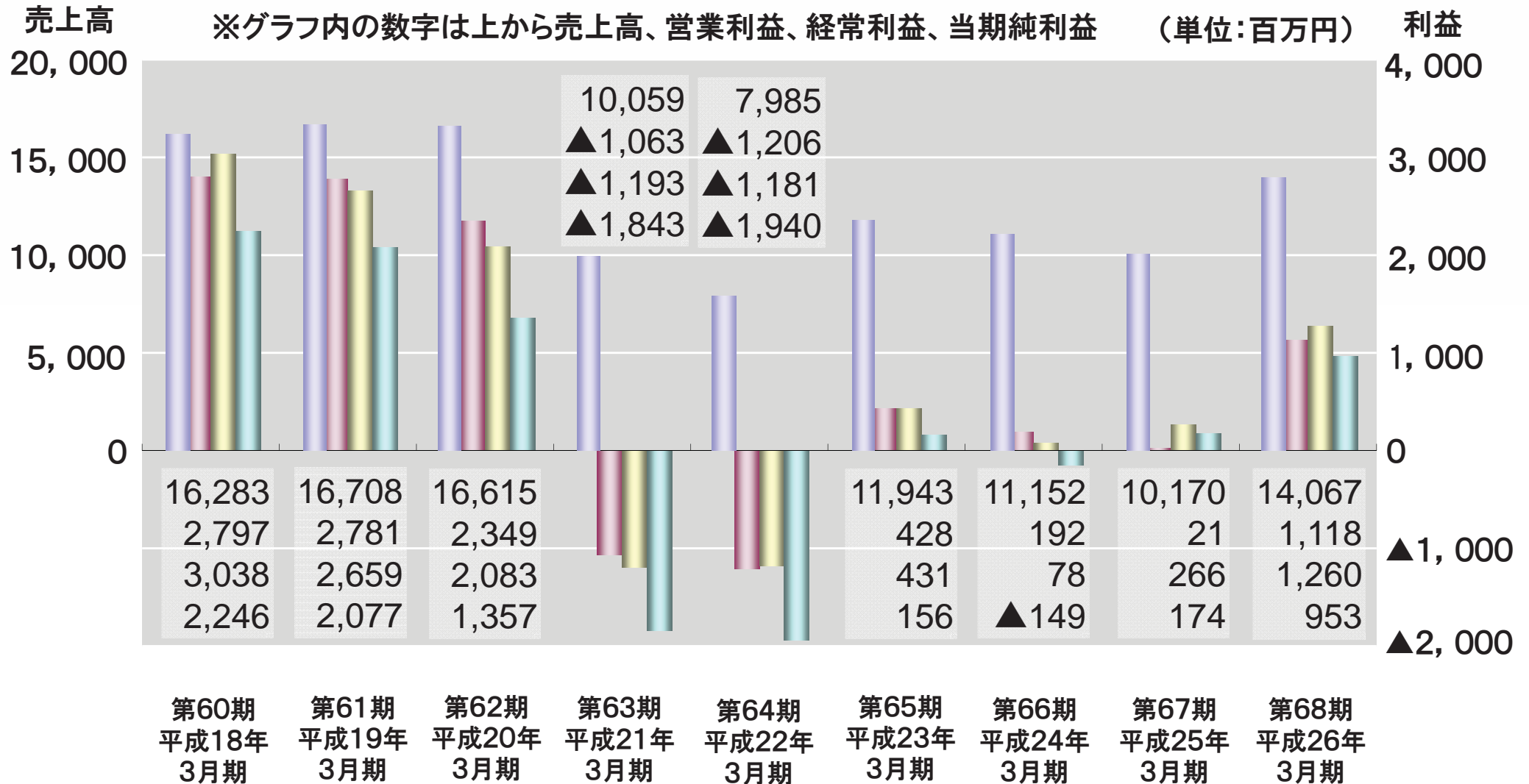
IV-02

会社概要



連結業績推移

■ 売上高(左)
 ■ 営業利益(右)
 ■ 経常利益(右)
 ■ 当期純利益(右)





*Stitching Together
New Tomorrows*

事業内容

工業用環縫いミシンの製造・販売

工業用ミシンとは、衣料縫製産業の主要生産設備



特化!

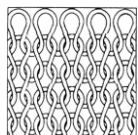


当社は主に輸出向けの高級ニットウェアやカジュアルウェアなどの縫製で広く使用されている環縫いミシンに特化した事業を展開

環縫いミシンと本縫いミシンの違い

環縫いミシン

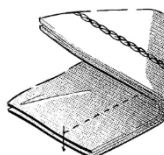
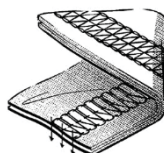
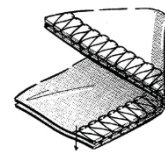
ニット(編まれたもの)の構造



環縫いの縫い目(断面図)

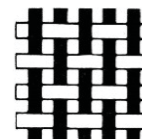


- カジュアルウェア
- スポーツウェア etc



本縫いミシン

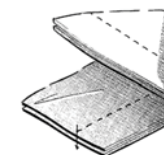
織物(織られたもの)の構造



本縫いの縫い目(断面図)

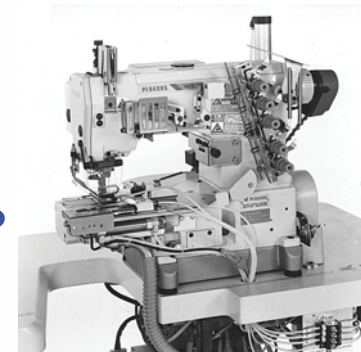
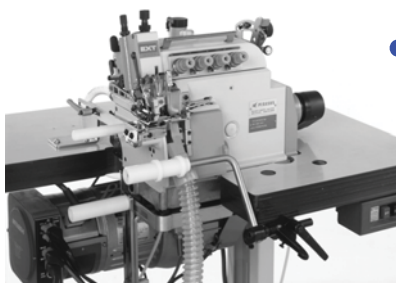
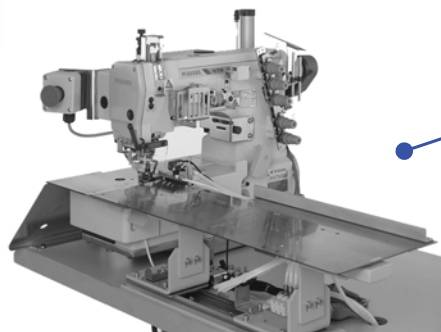
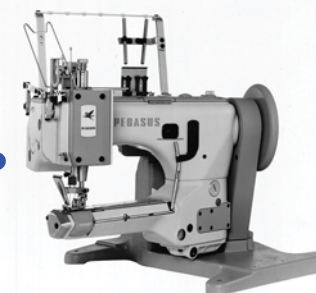


- スーツ
- ジーパン etc

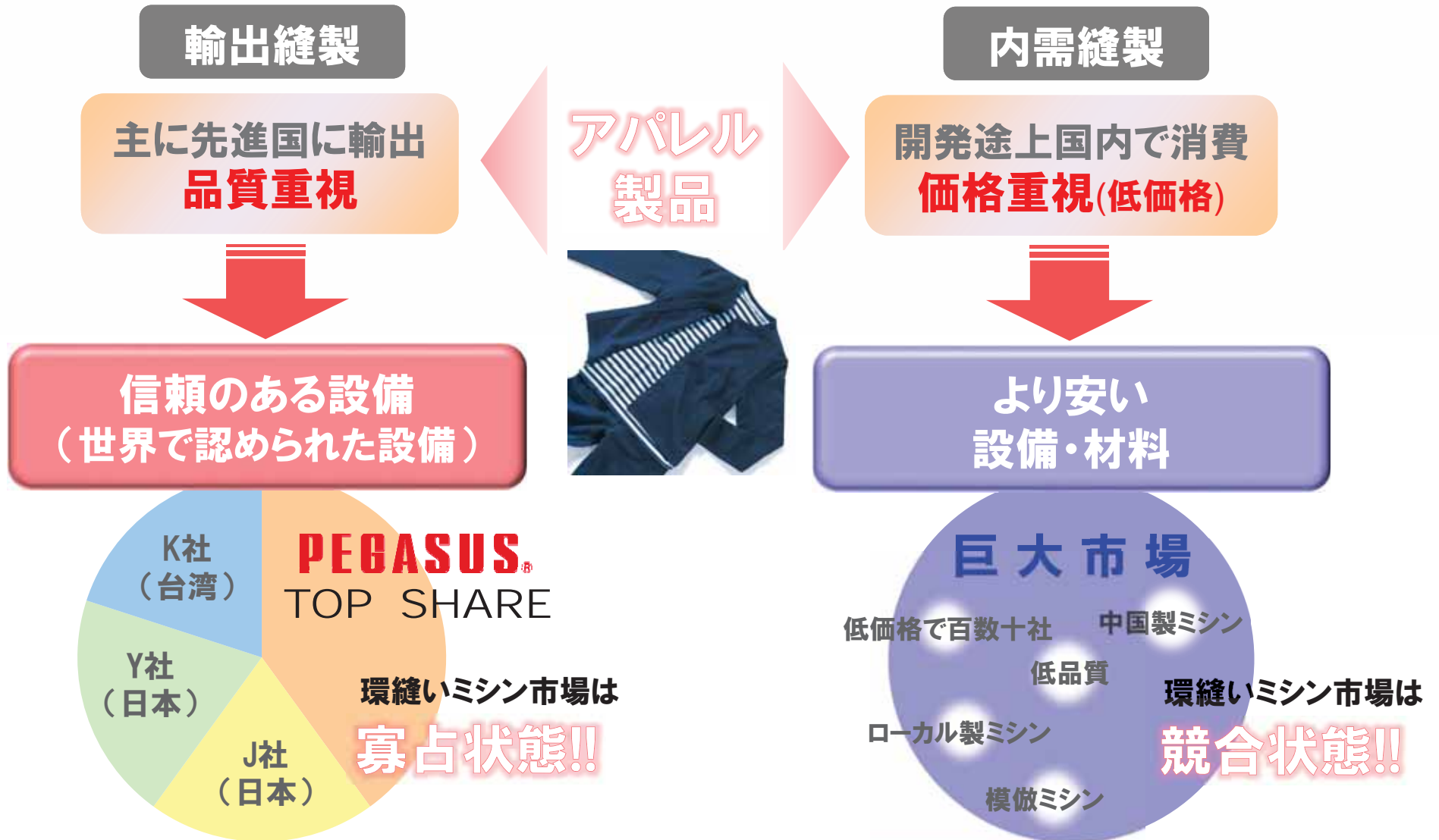


様々な用途に対して、豊富な機種を展開。その数**3,500**種類以上!!

様々な用途に使われる環縫いミシン。
当社では現在、3,500種類以上の
品揃えて、ユーザーニーズに対応!!



高性能・高機能の環縫いミシン業界は寡占状態



● 環縫い市場は安定的に拡大



世界人口の
増加



日常生活を支える三大要素

「衣」・「食」・「住」

生産財 当社の携わる工業用ミシン **PEGASUS**

縫製産地は絶えず好条件の生産拠点を求めて移動

好条件とは

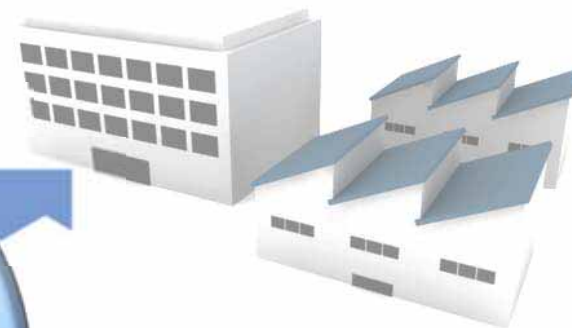
- 品質の良い縫製品が安く作れる
- まとまった数量が確保できる
- 納期が守れる
- 為替が安定している
- 関税が低い…等

これらの条件が充足されなくなると…

縫製基地としての
価値が低下

好条件を求めて
新たな縫製基地へ!!

新工場
設立



設備の新規導入

工業用ミシンの
販売チャンス!!

グローバルな生産および販売体制を構築

生産体制

工業用ミシンにおいては日本、中国、ベトナムで、ダイカスト部品は中国および新たにベトナムで2014年より操業

販売体制

工業用ミシンにおいては各国の当社販売拠点を中心に、世界約 **70** か国、約 **200** 社の販売代理店網を整備。

- 本社
- 製造拠点
- 販売拠点
- 支店営業所・駐在員事務所

EUROPE

CHINA

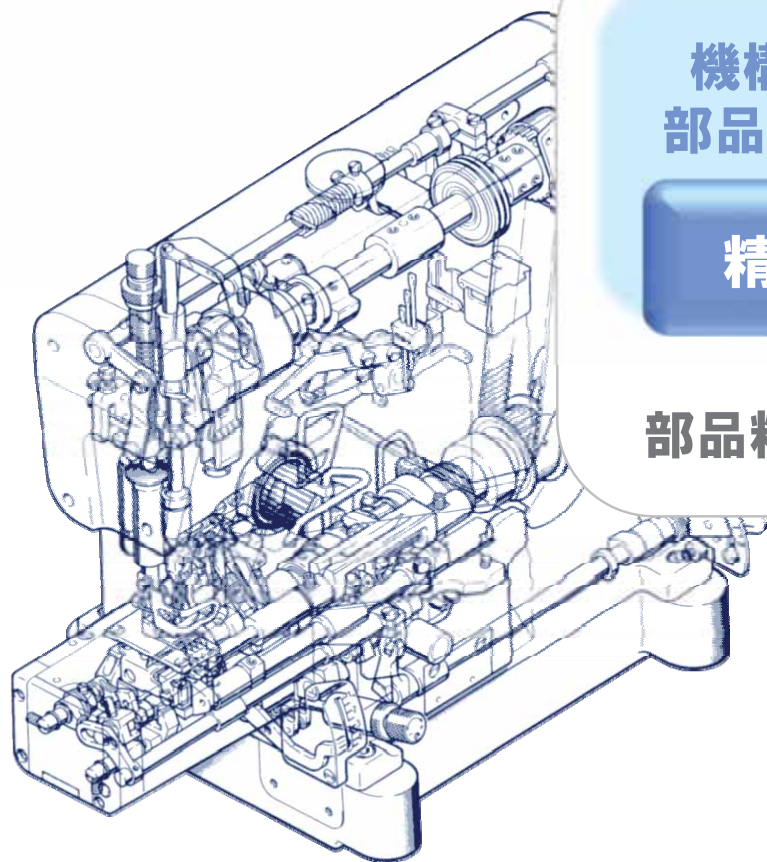
ASIA

JAPAN

AMERICA

● 新規参入が難しい環縫いミシン業界

精密機械である高性能・高機能な環縫いミシン業界への参入は難しい



機構が複雑で
部品点数が多い

精密構造

バリエーションが
豊富

機種が多い

ニット素材はデリ
ケート(扱いにくい)

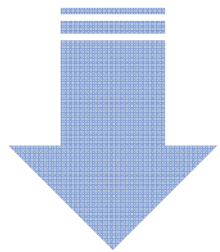
職人技の世界

部品精度の管理や組立ノウハウ、教育制度の充実が必要

高い参入障壁

● 業界における当社の位置付け
環縫いのPEGASUSとしての知名度を確立

ミシン業界は
150年以上の歴史



2014年に創業
100周年を迎える
環縫いミシンの

専業メーカー

1964年、欧州最大の
繊維総合メーカーによる
600時間耐久テストで、
当社のオーバーロックミシン
のみ

合格!

世界ブランド
PEGASUS
確立

世界中で
顧客ニーズに
合わせた

3,500

種類以上の
豊富な機種を

展開!

世界トップクラスの
開発技術力!

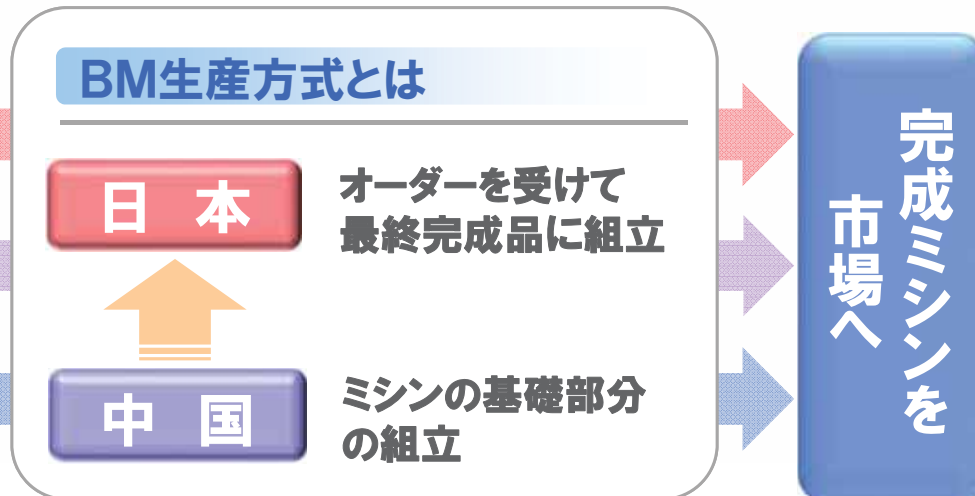
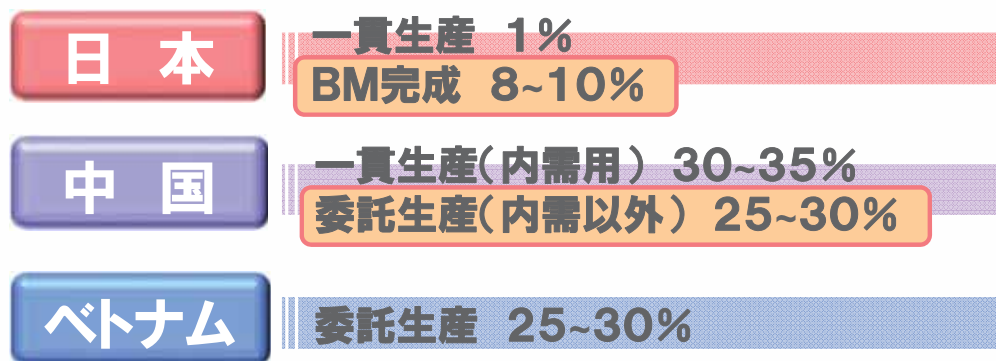


世界最小径!!



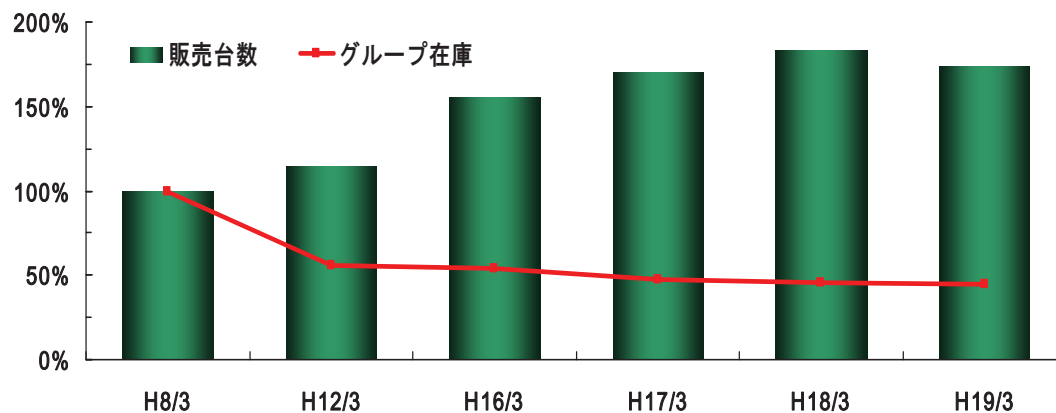
世界最高速!!

国際分業による効率的な生産体制 — BM生産方式



在庫削減効果(当社販売台数と在庫の推移)

(平成8年3月の販売台数、グループ在庫をそれぞれ100%とする)



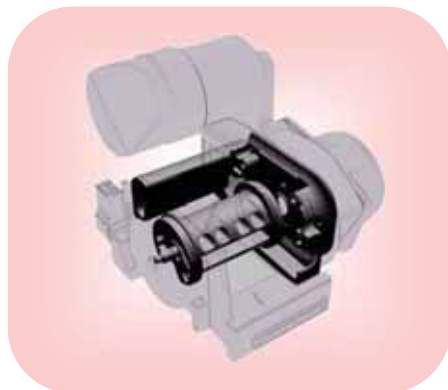
BM生産方式のメリット

- 通常21日の生産工程を**最短3日**へ短縮
- 1台のベースマシンから平均**25種類**のサブクラスに展開

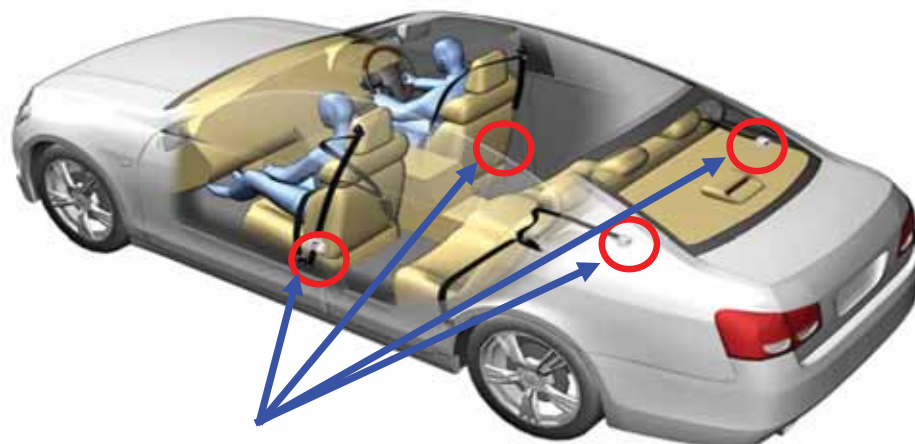
BM効果

納期短縮・コストダウン・在庫削減

- 各種ダイカストによる自動車用安全ベルト関連部品の製造・販売
グループの業績拡大ならびに企業価値の向上を目指さず。



リトラクター部分の
ダイカスト製品
イメージ図



使用部位

phase 1

平成19年(2007年)1月
中国・天津市に合併会社設立

平成20年(2008年)1月、営業開始

中国国内で日本製と
同等品質の部品を**製造!**

当社の強み!

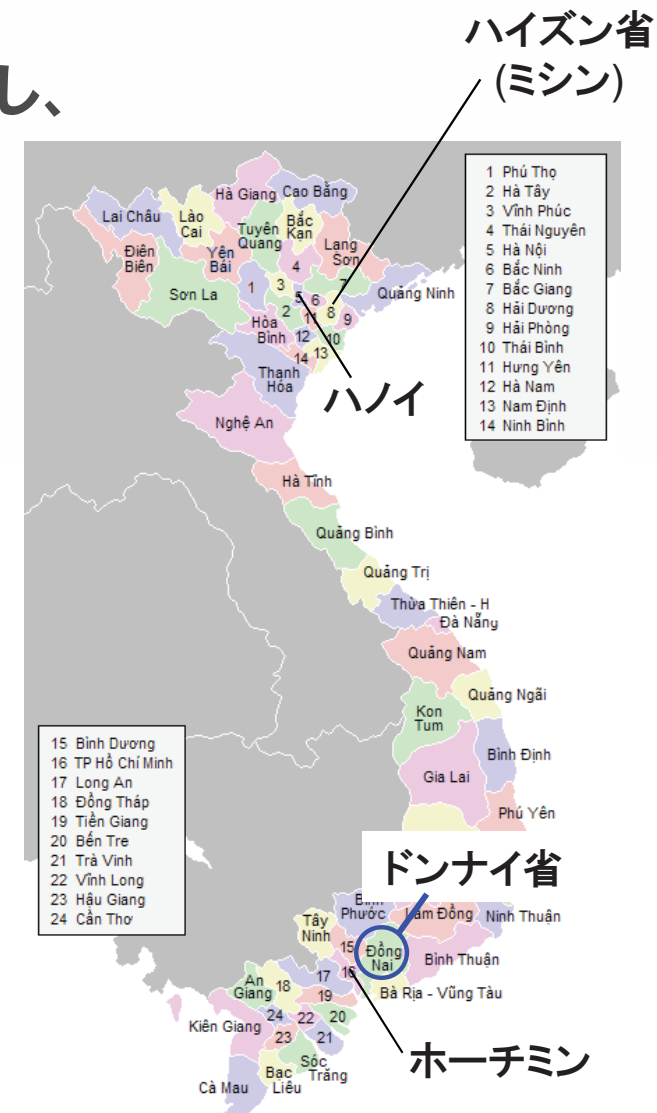
ダイカスト部品事業の拡大

ダイカスト部品に関わる需要増加への対応を目的とし、ベトナムに新たな生産拠点を設立。

- **設立時期** 平成25年4月10日
- **商号** PEGASUS-SHIMAMOTO AUTO PARTS (VIETNAM) CO., LTD.
- **所在地** ベトナム社会主義共和国ドンナイ省
- **代表者** 美馬 正道
- **決算期** 12月31日
- **資本金** 880万米ドル
- **当社出資額** 690万米ドル (出資比率 78.41%)

【参考】

■ 2013年世界の自動車生産台数
前年比3.7%増の約8,735万台(国際自動車工業連合会(OICA))





人と技術を通じて
世界の「衣料文化」の発展に貢献します。

Stitching Together New Tomorrows

経営基本方針

- 世界の人々と交流を深め、信頼される企業活動を展開します。
- 環縫いテクノロジーを究め、世界品質のものづくりを目指します。
- 常にお客様から学び、ニーズを形にし、サービスや情報の提供に最善をつくします。
- 関係先、社員との信頼関係を築き、互いの成長発展のために努力します。

Stitching Together は、「縫製する」と「誠実な仕事をする」という2つの意味を踏まえたペガサスの姿勢。

New Tomorrows は、「新しい明日」。

社会に貢献する企業として、ペガサスと関係する人々とともに「新しい明日」を創りだしていきます。



ペガサスミシン製造株式会社

本資料お取扱上のご注意

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点における入手可能な情報及び将来の経済環境の予想等に基づき作成しており、多分に不確定な要素を含んでおります。

実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。